

平成 28 年度デイサービスセンターかがみいし

事業報告書

◎事業運営の概況

利用実績は、年間延べ利用者 2,586 人、稼働平均 83.4%。目標実績である 80%を超えることができた。一時は定員 10 人の枠がほぼすべての曜日で埋まってしまい、ご利用の申し込みを断らざるを得ない状況も生じた。

利用者様及びご家族、その他協力して下さった多くの方々に感謝しなければならない。職員側としては、利用者様 1 人ひとりに気を配り、ご家族及び担当ケアマネジャーとのコミュニケーションを心掛けた。その努力が実を結んだといえる。もちろんまだ至らない点もあり、それは今後の課題である。

◎ 事業計画の実施状況

1. 職員資質の向上について

① 各種研修会等への参加

各種の研修会や講習会などの外部研修への参加は、充分とはいえないが、デイサービス連絡会等で、情報交換、意見交換に努めた。行政当局主催の説明会・研修会等には、積極的に参加し、習得した内容については、職場内で報告し、意識の共有を図った。

② チームケアの確立

月 1 回の定期ミーティングを開催した。伝達事項を周知し、利用者様のケース検討を必要に応じて実施することで、統一した意識でのサービス提供に努めた。

平成 28 年度に行った内部研修、行事については、以下の通り。

	内部研修	行事
4 月	ケース検討	岩本山 桜花見
5 月	ケース検討	中央公園 ばら見学
6 月	ケース検討	昼食会 (パイキング)
7 月	ケース検討	七夕、手作りおやつ
8 月	ケース検討	昼食会 (お寿司)
9 月	緊急時対応について	雁公園 コスモス見学
10 月	ケース検討	福祉展見学
11 月		焼き芋会・三日市浅間神社 菊展
12 月	ケース検討	クリスマス会
1 月	ケース検討	
2 月	ケース検討	節分会、滝川観音祭 見学
3 月	デイサービスの必要書類	梅花見

2. 地域との連携強化について

① 地域行事への参加

利用者様と共に、積極的に地域行事に足を運び、利用者様の社会参加を推進した。その事で、地域社会への認知度も向上し、地域に根付いた施設としての前進となった。

② 地域への積極的な情報発信

広報誌の有効活用や民協冒頭への出席等により、施設内の様子やサービス内容について情報発信した。また今年度から始まった運営推進会議（7月と2月に開催）には、利用者様のご家族の他、地元の町内会長、民生委員の方々にも出席して頂き、情報を発信するとともに、ご意見も伺った。

③ ボランティアの充実

各種ボランティアの来所があり、利用者様に喜んで頂いた。ボランティアとして来所された方々からも好評を頂き、相互の友好的な関係を築くことができた。

3. 非常災害時対策について

① 総合防災訓練への参加

総合防災訓練に参加し、職員と利用者様が共に、災害時対応の再確認、防災意識の高揚に努めた。

② 防災訓練の実施

今年度は計4回の防災訓練を実施した。地震を想定した訓練内容だった。しかし、まだ十分とはいえない。

③ マニュアルの見直し

ミーティング等を活用し、随時見直しを行い、充実を図った。今後も全職員へ周知し、理解を図り、適切な対応に努めたい。

4. 和める時間・空間作りについて

① 庭の手入れ

かがみいし所属の業務員により、芝生や庭木の手入れを行い、利用者様及び職員の心を和ませることができた。

② 畑の活用

春、畑にサツマイモを植え、秋には収穫し、焼き芋にして利用者様に召し上がって頂いた。利用者様に大変好評であった。ただ残念ながらナスやキュウリまでは手が回らなかった。

③ レクリエーションの工夫

昨年度からの継続で、カレンダー作りは続けたが、それ以外にもボランティアの方々のご協力、紙バンド工作等もさせて頂いた。